

農業だより

斑点米カメムシに注意！いもち病にも警戒を！

7月20日現在、出穂期は平年並みからやや早い見込みです。
斑点米カメムシ類が各地で容易に確認される状況です。地域全体で草刈りを徹底し、カメムシ類の密度を低減しましょう。

(稲作だより第10号(最上総合支庁農業技術普及課)より抜粋)

1. 病害虫対策

◎斑点米カメムシ類(発生量が多く、注意報発表中！)

出穂が近づいてからの草刈りは、斑点米カメムシ類を水田内に追い込み被害拡大に繋がります。7月の一斉草刈り後は8月末までは原則行わないようにしましょう。やむを得ず草刈りを行う場合は、薬剤散布の直前に実施しましょう。

出穂後、2回の基本防除(①穂揃期 ②穂揃期の7～10日後)を確実に行いましょう！状況によっては補完防除(基本防除2回目の7～10日後も必要となります)。



多いところでは1地点で100頭以上がすくい取られています！

◎いもち病(感染が広がっており、危険度大！)

下位葉を中心に、各地で葉いもちの発生が確認されています。昨年と同様にどの地域・どの圃場で発生してもおかしくない状況です。薬剤防除は、①穂ばらみ後期、②穂揃期の2回が基本ですが、病斑を発見したら直ちに治療効果の高い薬剤で防除しましょう。



◎稲こうじ病

発病後の治療薬剤はありません！ 予防を徹底しましょう！

発病した場合は治療薬剤がないため、特に毎年発生する圃場では予防対策を徹底しましょう。また、薬剤防除の際には使用上の注意を確認し、適切に防除することが重要です。



◎紋枯病

前年の発生が多かった圃場は要注意！

主に畦畔周辺の地際から発生し、茎数が多い圃場や高温時に発生が多くなります。前年に発生が多かった圃場では、特に注意が必要です。



2. 出穂予想(7月20日現在)早生を中心に出穂がやや早い！

地域 品種	移植日	出穂予想
新庄市泉田 はえぬき	5/26	8/9 (平年+2)
新庄市泉田 雪若丸	5/25	8/8 (平年+2)

※普及課生育診断圃場等の幼穂発育状況から予測

5/20頃移植の中生品種は8/5、8/6頃の出穂予想と、平年並みからやや早い予想です。

早生は出穂間近！

3. 出穂期前後の水管理

出穂までは間断かん水を行い土壌を酸化的に保ち、根の活力を維持するのが基本ですが、猛暑が予想される場合は、可能な範囲で地温を下げるような水管理としましょう。現在は10日間以上少雨が続き、圃場がカラカラに乾く前に必ず入水しましょう。

また、出穂・開花期は、稲にとって最も水が必要な時期です。2～5cmの水深を保ち、水を切らさないように管理しましょう。



すぐに入水を！

農薬危害防止運動実施中！(6/1～8/31) 農薬の適正使用！

STOP！農作業事故！農作業中の熱中症に注意！

農薬の使用に当たっては、近隣のみつばち飼育の有無を確認し、みつばちへの被害を防ごう！